

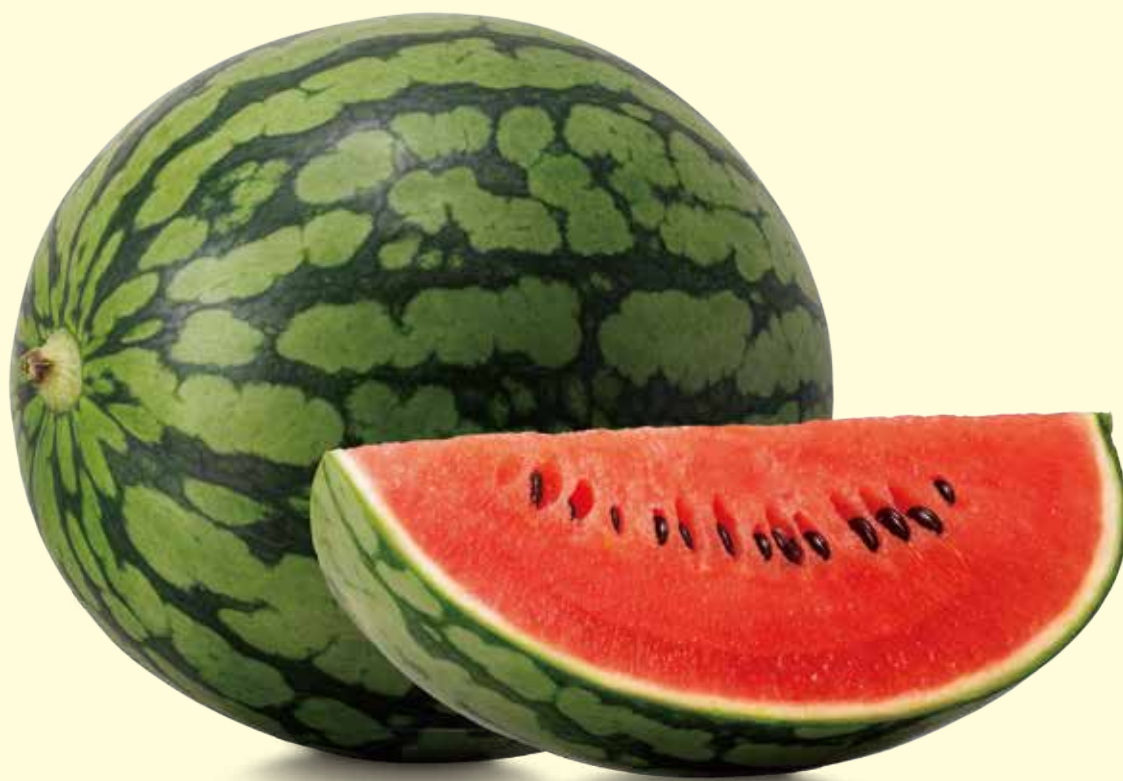
JA全農ウィークリー

J A Z E N - N O H W E E K L Y

Web版
JA全農ウィークリーは
こちらから



<https://www.zennoh-weekly.jp/>



3面

**「91農業」で
サクランボ収穫・選別作業支援**

(耕種総合対策部)

4面

いちごトレーニングセンターが修了式

(宮城県本部)

配送先変更(住所・宛名)、
配布部数変更はこちら



<https://forms.office.com/r/yUWVHyVVtK>

全農 ZEN-NOH

食と農を未来へつなぐ。

News!



でん粉原料用馬鈴しょ優良生産者を表彰

大野克彦さん(JAしれとこ斜里)に全農麦類農産部長賞

麦類農産部



全農麦類農産部長賞を石澤孝和麦類農産部長から大野さんへ授与(左)

全農麦類農産部長賞となった大野さんは、畑作と和牛肥育の複合経営の中、

同共励会(事務局…ホクレン農業協同組合連合会、後援…北海道澱粉工業協会、(公財)北海道農産基金協会は、でん粉原料用馬鈴しょのシストセンチュウ抵抗性品種の収量向上・安定栽培を目指し、模範となる生産者を表彰し、その優良技術を広く紹介することを目的としています。表彰式は札幌市内で開催されました。

全農は6月10日に開催された「第2回でん粉原料用馬鈴しょ栽培共励会表彰式」で、安定的な単収実績を残し、道内JA平均を大きくけん引しているJAしれとこ斜里(北海道)の大野克彦さんに全農麦類農産部長賞を授与しました。この表彰式では計7組の方が表彰されました。



でん粉原料用馬鈴しょ栽培共励会出席者

安定した単収確保に努め、自動操舵装置やドローンなどを利用したスマート農業に取り組むとともに、斜里町のICT推進協議会の構成員としてその知識を地域に還元しています。

全農は、北海道産馬鈴しょでん粉の実需者からの生産拡大の期待に対し、今後も共励会などを通じて収量の向上に取り組む生産者を支援し、でん粉の需給の安定に努めます。

News!



秋田県JA農業機械大展示会を開催

最新農機などを展示、スマート農業情報も発信

秋田県本部



最新の農業機械を展示



多くの来場者でにぎわう会場

会場には、自動操舵機能の付いたトラクターや田植機、農業用ドローンなどICTを活用した最新の農業機械が展示されました。実際に試乗して体感できる実演コーナーや、営農管理システム「Z-GIS」やRTK(高精度位置測位)システムの紹介コーナーも設けられ、省力化・効率化に向けたスマート農業技術を紹介しました。

期間中は、スマート農業情報を発信する「稲作高

会場には、自動操舵機能の付いたトラクターや田植機、農業用ドローンなどICTを活用した最新の農業機械が展示されました。実際に試乗して体感できる実演コーナーや、営農管理システム「Z-GIS」やRTK(高精度位置測位)システムの紹介コーナーも設けられ、省力化・効率化に向けたスマート農業技術を紹介しました。

秋田県本部担当者は「農業生産者が減っている中で、スマート農業の推進や情報発信により営農活動に貢献していきたい」と話しました。

秋田県本部とJAグループ秋田は6月18、19日の2日間、秋田県立スケート場で第36回秋田県JA農業機械大展示会を開催しました。約30のメーカー各社が最新農業機械など約2500点を展示しました。



「91農業」でサクランボ収穫・選別作業支援

JA共済連・企業と連携、生産者の労働力確保の一助に

耕種総合対策部

サクランボを収穫する
日比常務



作業はJA共済連、(株)セールスフォース・ジャパン、本会の役職員13人が参加し、生産者の労働力確保の一助とする目的で実施しています。

作業当日は早朝5時から10時まで収穫・選別作業に専念し、作業後は生産者の圃場を巡回し、選果場や直売所を視察。参加者からは「また来年も参加して作業を手伝いたい」との声が聞かれ好評でした。

全農は、「あなたのライフスタイルに農的生活を1割取り入れませんか」をコンセプトに「91農業」を展開しています。「91農業」に賛同した、JA共済連・(株)セールスフォース・ジャパンと連携して、山形でサクランボの収穫・選別作業を行いました。

共済連・セールスフォース・ジャパン、本会役職員の集合写真



参加者が農業の生産・調製・販売（直売）と、一連の流れを視察する良い機会となりました。全農は今後も「91農業」を展開するとともに、賛同した企業が参加できる農業支援の場を作っていきます。



生産資材展示し「ビッグフェア2025」

約70社が最先端の農業機械など200点以上紹介

山形県本部



共同購入コンバインについて説明を受ける来場者

約70社のメーカーが出展し、生産コストや環境負荷の低減を図った資材、労力軽減・省力化を旨とした最先端の農業機械など200点以上を展示・紹介しました。

また、人工知能（AI）を活用した栽培管理支援システム「ザルビオ」を紹介したアグリサポートコーナーや、全農が取り組んでいる低価格モデルの共同購入コンバイン展示コーナーなども人気を博しました。

実演会場では、衛星情報（RTK基地局）を利用したトラクターや田植機の自動操舵実演が行われ、スマート農業の最先端技術を紹介しました。また、近年の高温対策に特化した新型ビニールハウスの展示も注目を集めました。

山形県本部は6月7、8日の2日間、三川町にあるJA全農山形庄内農機センターでJAグループ山形生産資材展示会「ビッグフェア2025」を開催しました。

2日間の合計成約金額は、2024年比8%増となる約5億6400万円となりました。キッチンカーの出店やプレゼントが当たるスタンプラリーなども行われ、県内各地から計2100人以上が来場し、会場は大いにぎわいました。

News!



いちごトレーニングセンターが修了式

第1期生2人が新規就農者に

宮城県本部



修了式に出席した第1期生と都築県本部長(前列中央)

宮城県本部は5月30日、いちごトレーニングセンター第1期研修の修了式を開催しました。第1期生2人は14カ月間の研修を修了し、新規就農者として歩み始めます。

いちごトレーニングセンターは、「仙台いちご」の生産基盤拡大を進めるため、宮城県、山元町、JA仙台(株)やまもとファームみらい野などの関係機関と連携し、新規就農者研修事業を行っています。

第1期生の2024年度研修生は、14カ月間いちごの栽培管理をはじめ、就農に向けた準備や就農後の農業経営について熱心に学びました。

修了式では、都築祐一県本部長が修了証書を授与し、各関係者からは、第1期生へお祝い・

激励の言葉をかけていただきました。第1期生は、今後新規就農者の道へと歩んでいきます。

同センターは、6月1日から2026年度の研修生募集を開始しました。今後も「仙台いちご」の生産基盤拡大に向けた新規就農者の育成・就農支援を継続的に行っていきます。

News!



岩手で10年ぶりに少年野球教室

中畑清さんら元プロ野球選手が直接指導

岩手県本部、広報・調査部

高橋司県本部長(中央)と少年野球教室の講師陣



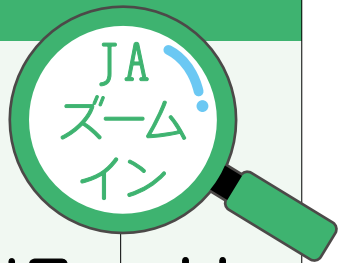
全農は6月14日、盛岡市の「きたぎんボールパーク(いわて盛岡ボールパーク)」を会場に「JA全農WCBF少年野球教室」を開催しました。同教室は33年目を迎える歴史ある教室で、岩手県での開催は10年ぶり。

元プロ野球選手の中畑清さん、緒方耕一さん(いずれも巨人OB)、里崎智也さん(ロッテOB)、五十嵐亮太さん(ヤクルトOB)らが講師となり、約160人の子どもたちにピッチン

グやバッティングを指導しました。また、指導者を対象にトレーニング方法を、保護者には成長期における栄養管理の講習会も開催しました。子どもたちにとって、超一流の講師陣から野球の理論や技術を学ぶことができる貴重な機会となりました。

ピッチングの指導を受けた子どもの中には「腕の位置を意識しただけで、球を真つすぐ投げられるようになった」と技術向上を実感した様子でした。

講師陣には記念品として「いわて牛」などを贈呈しました。全農は、今後もこの教室を通じて健康で明るい野球少年・少女を育て、子どもたちの夢や成長を応援していきます。



持続可能な農業の実現へ

規模問わず全ての農業者を支援

地域に根ざした農林業 多彩な農産物を栽培

愛媛県のJA松山市は、道後温泉でも有名な県都の松山市や農業が盛んな東温市、松前町、標高500mを超える農林業の産地である久万高原町で、多彩な農産物を栽培しています。

平野部では、「まつやま農林水産物ブランド」に認定された

2023年に「まつやま農林水産物ブランド」に認定された興居島レモン



「農業塾」で指導員から教わる塾生

専業・兼業・小規模向け 多様な支援を展開

JAは、農業を専業にする人、兼業する人、小規模で

れている「松山長なす」や「松山一寸そらまめ」をはじめとする野菜や花きを栽培しています。島しょ部では温州ミカンや「興居島レモン」、中山間部では、夏でも冷涼な気候を生かし「久万高原清流米」や夏秋トマト、ピーマンなどを生産しています。

楽しみたい人など全ての農業者に向けた多様な支援を展開しています。

共同販売や産直市への出荷を目指す人を対象に、野菜作りの基礎知識や栽培技術を学んでもらう「農業塾」を実施。今年度、新たに8人が入塾し、ナスや白ネギ、レタスなどを栽培しています。また、新規就農者を増やそうと、2023年度には新規就農者研修センターを開設しました。ベテランの指導員がセンター長として、栽培方法や農機の使い方などを教えており、これまで2人が卒業し就農しました。

新たな作物としてサトイモの産地化を目指しており、農業者の労力とコスト削減のため、営農職員がサトイモ

ベテラン農家の「農の匠」 技術や知識を次世代へ

ベテラン農家が栽培経験の浅い生産者を対象に技術や知識を伝える「農の匠」を実施しています。ナスやトマト、ピーマン、レタスなどの



サトイモのマルチ張りをする営農指導員



指導員圃場で栽培に取り組む様子

向上につなげています。

営農指導員の圃場設け 相談できる体制を強化

今年度から営農指導員専用の圃場を設けました。指導員が新品種の試験栽培や、肥料・農薬、新しい資材の施用試験などに取り組んでいます。近年の異常気象に伴って増加している病害虫の発生や作物の異変などの相談に対応できる体制を築いています。

JA松山市 (愛媛県)



概要

2025年3月31日現在

正組合員数	7936人
准組合員数	2万8150人
職員数	466人
販売品取扱高	21億9千万円
購買品取扱高	17億2千万円
貯金残高	3482億円
長期共済保有高	3999億円
主な農畜産物	トマト、ピーマン、
	久万高原清流米、伊予柑、興居島レモン、
	ソラマメ、シンテッポウユリ、イチゴ、
	白ネギ、松山長なす、エダマメ、レタス

全農グループ 会社探訪

JA全農くみあい飼料株式会社

「食」の安心は高品質で安全な飼料・肥料から 43都府県エリアの配合飼料トップメーカー

JA全農くみあい飼料株式会社は、2024年4月に誕生した、国内トップのシェアを持つ配合飼料メーカーです。東北から北部九州までの43都府県を供給エリアとし、年間450万トンの配合飼料の製造・販売をはじめ、安全・安心で高品質な製品・サービスを生産者にお届けし、日本の畜産や皆さまの食の安心を支えています。

【広報・調査部】

安全・安心の製品提供 豊かな食生活を未来へ

JA全農くみあい飼料株式会社は2024年4月1日、JA全農グループの四つの飼料会社（JA全農北日本くみあい飼料（株）、JA東日本くみあい飼料（株）、JA西日本くみあい飼料（株）、ジェイエイ北九州くみあい飼料（株））と、その4社を完全子会社とする持ち株会社JA全農くみあい飼料ホールディングス（株）の合併により設立され

ました。

畜産用配合飼料の製造・販売だけでなく、養魚飼料の製造・販売、動物用医薬品をはじめとした畜産用機器・資材の販売、畜産農場運営、畜産加工品の製造・販売、および耕畜連携にかかわる肥料の製造・販売など、畜産業を支える幅広い事業を展開しています。全国の畜産農家に安全・安心で高品質な製品を提供し、「生産者と共に豊かな食生活を未来へつなぐ」ことを経営理念と

事業所・工場一覧



鶏糞量を大幅カット!

UNKを使ってからニワトリのフンが少なくなったね!

新しい
くみあい UNK シリーズ

「くみあいUNKシリーズ」は鶏糞を少なくしたい方にオススメの飼料です!
UNKは Unifun/Nature-Kind
(使用で自然に優しい)の飼料です

くみあい ふんふんシリーズ

「くみあい ふんふんシリーズ」は、環境にやさしい養豚飼料です。

ふんの量を大幅にカット!

排泄窒素を大幅にカット!

ふんふんシリーズを使ってから豚のふんが少なくなったね。

土壌環境にも浄化槽にもやさしい飼料なんだね。

「飼料」のプロフェッショナルとして



代表取締役社長
遠藤 充史 氏

私たちはJAグループの一員として、「くみあい配合飼料」を通じて生産者のニーズに応えるとともに、環境対応が求められる畜産・酪農分野においてイノベーションをリードし、持続可能な経営を支えています。

従業員一人一人が働きがいを感じ、成長できる環境を提供すること。そして、豊かな食生活と健康を支える畜産物の生産に貢献することが私たちの使命です。地域に根ざし、地域社会に貢献できる仲間と共に、「豊かな食生活を未来へつなぐ」企業を目指して、これからも努力を続けてまいります。



また、JA全農グループの一員として、全国規模のネットワークと業界トップのシェアを生かし、生産者の多様なニーズに対応すること、さらに社員一人一人が挑戦する姿

しています。

ふん尿の適正処理で 持続可能な畜産経営

私たちは全農とともに、飼料の消化・吸収効率を高め、鶏ふんの発生量を抑制する独自の飼料「UNKシリーズ」を開発・商品化しました。同シリーズは、ふん量を20%以上削減する効果があり、排せつ物処理の負担軽減に寄与しています。現在は豚用飼料の開

勢を持ち、新たな価値の創造に取り組み企業風土を大切にしています。地域の特性に応じたサービスを提供することで、畜産業の発展に貢献し、地域社会と共に成長し続けることを目指しています。

発も進めており、全国展開を推進中です。

畜産業における環境負荷の低減、とりわけふん尿の適正処理は重要な課題です。今後生産性の向上と環境への配慮を両立する飼料の開発に取り組む、持続可能な畜産経営の実現を支援していきます。

また、飼料用米や子実トウモロコシの活用にも取り組んでいます。飼料用米はトウモロコシと同等の栄養価を持ち、主に鶏や豚の飼料として利用されています。子実トウモロコシの生産については、JA全農や地域のJAと連携し、大規模な実証試験を実施しています。これらの取り組みにより、主

会社の概要 (2025年4月1日現在)

本社所在地

東京都千代田区大手町一丁目3番1号
JAビル

事業内容

- 飼料の製造および販売、肥料の製造・販売
- 家畜・家禽類の飼育・生産、農畜産物の生産に関する研究
- 農畜産物の加工・販売・家畜の取引、畜産用機器・資材の販売
- 動物用医薬品の販売、倉庫業、家畜の診療など

設立年月日

2024年4月

代表者

代表取締役社長
遠藤 充史

従業員数

1263人



公式ホームページはこちら

<https://www.znf.co.jp/>



食用米の需給調整や食料自給率の向上に寄与するとともに、耕種農家と畜産農家が連携する循環型農業の推進を目指しています。

信州素材の新品6品を新発売

ファミリーマートと共同開発 長野・山梨約340店で販売

全農はファミリーマートと連携し、長野県産素材にこだわった6商品を共同開発し、7月1日から長野・山梨県内のファミリーマート約340店で順次販売を開始しました。

【営業開発部・長野県本部】

長野県産の素材を生かした地域色豊かな商品として、「アスパラピラフおむすび」「ホイコーロー回鍋肉弁当」など6品を共同開発しました。販売開始に先立ち、7月1日に関係者が長野県庁を訪問し、阿部守一知事に開発商品を報告しました。

対象商品の試食も行われ、「信州産アスパラガスの味がしっかりと生きている」「キャベツのシャキシャキとした鮮度感ある食感で夏の暑い時期に最適」などの評価をいただきました。

今後も資本業務提携に基づき、国産農畜産物を活用した商品を通じて、その魅力発信と販売拡大に取り組んでいきます。



商品を持つ関係者(左:根津彰長野県副本部長、左から2人目:長谷川孝治本部長、同3人目:阿部県知事、右:全農の戸井和久チーフオフィサー)



商品を試食する
阿部県知事



「信州の味」ポスター

※店舗によって取り扱いのない場合があります ※牛乳パン・レタスミックスは販売エリアが異なります

「協働の米づくり活動」スタート

生協ひろしま役職員と田植え 除草や防除も体験へ

広島県本部は生協ひろしまと6月6日に「協働の米づくり活動」として、「あきろまん」を定植しました。今回の取り組みは、「国際協同組合年」にあたる今年、持続可能な農業と食料供給に貢献していくことを目指しています。

【広島県本部】

生協ひろしま役職員ら約30人が田植機での作業、動力散布機での施肥などを行いました。今後は、畦畔の除草作業や出穂前の防除、収穫作業などを行う予定です。

生協ひろしまの宗本干城理事長は「全農ひろしまと協力して地域課題の解決につなげたい」と今後の展望を語

りました。

安藤重孝県本部長は「産地から食卓までつながること」で持続可能な農業と食料の安定供給に向け、消費者の理解を促すために、重要な活動としたい」と期待を込めました。



「協働の米づくり活動」に意気込む広島県本部と生協ひろしまの役職員

JA全農の産地直送通販サイト



JAタウン ショップ紹介



正直やまぐち

「やまぐち和牛 燦(きらめき)」は、山口県産和牛に対する需要拡大を図るため、一定の定義を満たした県産和牛に付与するブランドとして、「山口県産和牛ブランド推進協議会」が2020年に新たに創設したブランドです。

山口県産和牛は、和牛のオリンピックと言われる「全国和牛能力共進会」で全国3位に入賞するなど、全国的にもその品質の高さが評価されています。

「燦(きらめき)」というネーミングには、「山口県産和牛が全国できらめく存在になってほしい」という願いが込められています。

高い品質のものだけがその名を名乗ることができる「やまぐち和牛 燦(きらめき)」をぜひご賞味ください。



「やまぐち和牛 燦(きらめき)」
薄切り詰合せ 約500g
...12130円(税込み)



ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは ☑ shop@ja-town1.com



『JA全農トピックス』の公式
Xはこちら



私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心して結ぶ懸け橋
になります。